

## ERICA SYNTHS BLACK シリーズ・モジュールをご購入ありがとうございます。

ERICA BLACK シリーズはユニークな機能と高品質なクオリティを有するハイエンド・モジュールです。可能な限りの高級なパーツを使用して組み立てられ、すべての入出力は予期せぬ過電圧による回路へのダメージを防ぐよう施されています。BLACK シリーズのデザインにおいて、パネル・サイズの縮小化は重要視されていません。あくまで使用における利便性と品質を優先してデザインされています。大きなノブはサウンドを変化させる各機能を繊細に設定できるでしょう。

ERICA BLACK シリーズはあなたが望むシステムに必要とするあらゆるモジュールを提供してゆきます。

ERICA SYNTHS BLACK MIDI-CV はコンパクトかつ正確で、誰にも簡単に使用できるデュオフォニックMIDI インターフェースです。

伝統的なモノフォニック/デュオフォニック・シンセの機能を再現できるだけでなく、それぞれ独立した2つのMIDIチャンネルを使用することも可能です。ボーナス機能としてMIDIクロック出力とアナログ・グライド回路を両チャンネルに備えています。

### 機能概要:

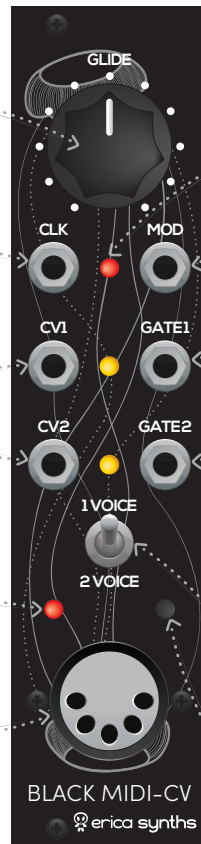
- 2x CV, 2x ゲート出力
- MIDI クロック出力 (シーケンサーでの使用を配慮した4ppq)
- 任意のMOD出力 (モジュレーション・ウィールまたはヴェロシティ)
- 両MIDIチャンネルへのアナログ・グライドの付加
- 1または2MIDIチャンネルの設定
- 1または2ヴォイス切り替えスイッチ

### スペック:

- 出力CVレンジ ————— 0-8V
- 最大CV偏差 ————— 0.001V; 1セント
- ゲート及びブロック出力レベル ————— 5V
- グライド時間 ————— 0-2"
- 電力消費 ————— +40mA, -9mA
- パネル幅 ————— 6HP
- モジュール奥行き ————— 30mm

MIDIチャンネル設定	MOD出力設定	1V/OCTクターヴ用キャリブレーション(オプショナル)
<p>モジュールにMIDIキーボードを接続してみましょう。プログラム・ボタンを4秒間押し続けます。MIDI LEDがゆっくりと点滅を開始します。キーボードのキーでMIDIチャンネルを選択します。全オクターヴ内のいずれかのCキーを押すことでMIDIチャンネルC、C#でチャンネル2、Dでチャンネル3...とチャンネル12までモジュールへMIDIメッセージを送るようアサイン可能です。</p> <p>2つのMIDIチャンネルの設定を行うには2つのキーを同時に押し続けます。CV1/GATE1は最低MIDIチャンネルでアサインされ、CV2/GATE2は最高MIDIチャンネルでアサインされます。プログラム・ボタンを押すことでMOD出力の設定を変更します。</p>	<p>MOD出力設定モード中はLEDが素早く点滅します。モジュレーション・ウィールをMOD出力へアサインさせたい場合はシンブルにMIDIコンのウィールを回してください。キー・ヴェロシティをアサインさせたい場合はキーボード内のいずれかのキーを押してください。プログラム・ボタンを再び押すことで設定を完了します。</p>	<p>BLACK MIDI-CVモジュールは全てキャリブレーション後に工場出荷されています。しかしながらお使いのモジュラーシステムの特性上ご自身でキャリブレーションを行う必要があるかもしれません。以下に方法を明記します。</p> <p>MIDIキーボードとモジュールを接続します。VOICEスイッチを1VOICEモードに切り替え、CV1出力をキャリブレーション済みのVCOの1V/OCT入力へバッチし、VCOの出力をクロマチック・チューナーに接続します。モジュールを電源から外し、プログラムボタンを押しながら電源バスボードに接続してください。MIDI LEDは点滅を開始することでキャリブレーション・モードであることを表示します。</p> <p>キーボードでC3を押し、チューナーがC3を読むようにVCOをチューニングします。</p> <p>次にC4を押してチューナーをチェックします。この時チューナーがC4より高音が表示される場合はC4に合うまでB3を繰り返し押しします。C4より低音が表示される場合はC4に合うまでC#4を繰り返し押しします。次にC5を押してチューナーをチェックします。</p> <p>この時チューナーがC5より高音が表示される場合はC5に合うまでB4を繰り返し押しします。この行程を繰り返すことで全オクターヴをチューニングしていきます。再びプログラムボタンを押すことでCV2出力のキャリブレーションに移行します。手順は同様です。キャリブレーションが完了したらプログラムボタンを押してキャリブレーション・モードを退出します。</p>

- GLIDE**  
CV出力に加えるグライド・タイムを設定します。グライドはCV1, CV2へ同時に影響します。
- CLK**  
4ppqクロック出力です。シーケンサーのコントロールに使用しましょう。2MIDIチャンネル・モード時はどちらか一方のMIDIデバイスでMIDIブロックが有効化されているよう注意してください。
- CV1/CV2**  
CV出力です。1VOICEモード時、CV2はCV1と同一のCVが出力されます。2VOICEモード時、CV2は高音ノートが優先され、CV1は低音ノートが優先されて出力されます。
- MIDI INDICATOR**  
MIDIの稼働状態と設定状況を表示するLEDです。
- MIDI IN**  
MIDI入力ソケットです。



- クロックLED**  
クロック周期を表示するLEDです。
- MOD**  
モジュレーションCV出力です。モジュレーション・ウィールまたはキー・ヴェロシティのいずれかをアサインさせることができます。
- GATE1**  
第一チャンネルのゲート出力です。
- GATE2**  
第二チャンネルのゲート出力です。伝統的なモノ/デュオフォニック・シンセは単一ゲート出力です。単一MIDIチャンネル・モード時はGATE1と同一のゲートが出力されます。2MIDIチャンネル・モード時は独立した別個のゲート出力として使用できます。
- VOICEスイッチ**  
単一MIDIチャンネル・モード時は単一ヴォイス・モード(高音ノート優先)または2ヴォイス・モード(低音と高音ノートがそれぞれの優先チャンネルからの出力)から選択できます。
- プログラム・ボタン**  
ボタンを押すことでMIDIバッチ・メッセージを送信できます。長押しすることでコンフィグ・モードに入り、設定変更を行うことができます。

## SAFETY INSTRUCTIONS

以下の条件に従ってErica Synthsのモジュールをご使用ください。  
以下の条件下での使用のみモジュールの通常動作が約束され、  
弊社の保証が受けられます。



水濡れはウォーター・プルーフ加工が施されていない電子機器に  
とって致命的です。Erica Synthsモジュールは多湿または  
水濡れしやすい環境での使用を想定していません。  
液体などがモジュール内部へ侵入した場合は電源を直ちに  
落とし、モジュールを取り外して十分に乾燥させてください。



50°C以上または-20°C以下の環境でのプロダクトの使用は  
想定されていません。



携帯の際やインストールの際は丁寧に行ってください。  
外的要因によるモジュールへの物理的ダメージは保証の対象にされません。



各モジュールは全て弊社で梱包されてから発送されます。  
返品、交換または保証による修理での返送は購入時の梱包で  
お願い致します。その他の梱包状態での返送はお受けできない  
場合がございます。よって購入時の梱包材及び同封書類は  
保管して頂くようお願い致します。

Erica Synthsのプロダクトの保証条件につきましては  
以下のウェブサイトをご参照ください。  
[www.ericasynths.lv/en/terms/](http://www.ericasynths.lv/en/terms/)

Erica Synthsプロダクトに関する質問やお問い合わせは  
こちらまでご連絡ください。  
[info@ericasynths.lv](mailto:info@ericasynths.lv)

## DISPOSAL

返品、交換または保証による修理での返送は以下にお送りください。  
Erica Synths, Andrejostas Str.12, Riga, Latvia, LV-1045

Design and made in Latvia.  
User manual by Girts Ozolins@Erica Synths  
Translated by Ryo Kuramoto  
Design by Ieva Andrupe